

葉洋菜類

- ア ス パ ラ ガ ス
- ね ぎ
- ブ ロ ッ コ リ ー
- カ リ フ ラ ワ ー
- キ ャ ベ ツ
- パ セ リ
- ほ う れ ん そ う
- セ ル リ ー
- 野 沢 菜
- は く さ い
- レ タ ス
- う ど

●防除モデル付き

一般的な平均年の防除例です。突発的な病害虫の多発には別途散布が必要です。

アスパラガス登録農薬適用表(1) (殺菌・除草剤)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時の薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		14	リゾレックス水和剤	株養成期(播種又は定植時から茎葉刈取り期まで)但し、収穫14日前まで 収穫後から茎葉刈取り期まで但し、収穫14日前まで	3回以内	500倍(100~300g)	200g	苗立枯病 茎枯病	○	×	水和剤	散布	トルクロホスメチル	
		3	トリフミン水和剤	収穫7日前まで	1回	1,000倍(3g/㎡)	100g	立枯病	○	○	水和剤	灌注	トリフルミゾール	
		3	ラーイー水和剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(150~300g)	25g	斑点病、褐斑病、茎枯病	○	○	水和剤	散布	マイクロタニル	予防・治療に効果。晩夏~秋期の斑点病対策
		3	スコア顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(200~500g)	50g	斑点病	○	○	顆粒水和剤	散布	ジフェノコナゾール	予防・治療に効果があり散布適期が広い
		M7	ベルコート水和剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍(100~500g)	100g	茎枯病、斑点病、褐斑病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジンアルベシル硫酸塩	茎葉刈取り後~萌芽前の土壌表面殺菌に適す
		M1	キノドーフロアブル	収穫3日前まで	5回以内	600~800倍(100~300g)	167~125ml	茎枯病、べと病	○	×	フロアブル	散布	有機銅	薬害注意
		M1	クプロシールド	—	—	1,000倍(100~400g)	100ml	斑点病、茎枯病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	薬害注意
		M1	ICボルドー66D	— 収穫終了後	—	100倍(100~300g) 50倍(100~300g)	1g 2g	茎枯病 斑点病、茎枯病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	使用時期は収穫終了後
		2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	5回以内	2,000倍(100~300g)	50g	茎枯病、斑点病、褐斑病	○	△	水和剤	散布	イブロジオン	予防剤として使用
		M5	ダコニール1000	収穫前日まで	4回以内	1,000倍(100~400g)	100ml	褐斑病、茎枯病、斑点病、疫病	○	×	フロアブル	散布	TPN	茎枯病予防に効果あり
		7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	茎枯病、褐斑病、斑点病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド	褐斑・斑点病予防剤として使用、茎枯病には効果がやや弱い。
		7、11	シグナムWDG	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~500g)	67ml	茎枯病、斑点病、褐斑病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピラクロストロビン、ボスカリド	茎枯病・斑点病・褐斑病の予防・治療に使用(薬害注意) アミスターと同成分のため総使用回数に注意。
		11、4	ユニフォーム粒剤	収穫前日まで	3回以内	12kg	—	疫病	○	△	粒剤	株元散布	アゾキシストロビン・メトラキシルM	
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300g)	50g	茎枯病、斑点病、褐斑病	○	△	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	茎枯病の基幹的防除剤(薬害注意)(展着剤不要)
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	3,000倍(100~300g)	33g	褐斑病、茎枯病、斑点病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリベンカルブ	茎枯病の基幹的防除剤(薬害に注意)
	11	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~500g)	50ml	斑点病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	薬害注意	
	1	ベンレート水和剤	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300g)	50g	茎枯病、株腐病	○	○	水和剤	散布	ペノミル	薬剤抵抗性確認 効果低下の可能性あり	

◆FRACコード「11」の剤はいずれも薬害に注意する。特に立茎始期の散布にて展着剤(ササラ)混用で若茎への薬害リスクが高くなるため注意する。また、高温時の散布は避ける。

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		センコル水和剤	萌芽前~萌芽始期又は、収穫打ち切り後(雑草発生前~4、5葉期)	1回	100~150g(100g)	一年生雑草	水和剤	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布	メトリブジン	萌芽始期に推奨
		ロロックス	萌芽前(雑草発生前~発生始期) 萌芽始期但し、収穫前日まで(雑草発生前~発生始期) 生育期但し、収穫前日まで(雑草生育期)	1回	2回以内(全面土壌散布は1回以内、雑草茎葉土壌散布は1回以内) 150~200g(100~150g) 150~200g(100g)	一年生雑草 一年生広葉雑草	水和剤 水和剤	全面土壌散布 雑草茎葉土壌散布(畦間・株間処理)	リニユロン	萌芽前、ハウス設置後の小トンネル設置前に散布
		クロロIPC乳剤	苗床播種直後 定植畑培土後雑草発生前、但し収穫30日前まで	1回	200~300ml(70~100g) 250~300ml(70~100g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布 定植畑 全面土壌散布	IPC	気温20度以下の時期に強い草殺力を発揮する。スズメノテウリ、ハコベ、タビラコに効果あり
		クレマート乳剤	萌芽前(雑草発生前)	1回	200~400ml(100~150g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期但し収穫前日まで 雑草生育期イネ科雑草6~8葉期但し収穫前日まで	1回	150~200ml(100~150g) 200ml(100g)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	イネ科雑草のみに効果
茎葉除草剤 (非選択性)		ラウンドアップマックスロード	耕起前まで(雑草生育期) 収穫前日まで(雑草生育期、畦間処理) 収穫前日まで(雑草生育期、畦間処理)	1回 2回以内	200~500ml *通常散布 50~100g*少量散布 25~50g 1,500~2,000ml *通常散布50~100g*少量散布 25~50g 500~1,000ml(25~100g)	一年生雑草 スギナ	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	
		タッチダウンIQ	萌芽前または収穫打ち切り後(雑草生育期) 耕起7日以前(雑草生育期) 畦間処理 雑草生育期 但し、収穫前日まで 萌芽前または収穫打ち切り後(雑草生育期)	3回以内	250~500ml(25~50g) 1,500~2,000ml(25~50g) 1,000ml(25~100g)	一年生雑草 スギナ	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	
		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期萌芽前又は畦間処理) 収穫打ち切り後(雑草生育期)	2回以内	300~500ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
	毒	ブリグロックスL	播種前又は植付前 萌芽前:雑草生育期(草丈20cm以下) 畦間処理:雑草生育期但し、収穫前日まで	3回以内	600~1,000ml(100~150g) 1,000~2,000ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・バラコート	

アスパラガス登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 の薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌 消毒	劇	IRAC 8B	クロールピクリン	—	1回	<圃場>2~3mL/1穴 <床土・堆肥>3~5mL/1穴	—	立枯病、紋羽病、センチュウ類、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、ワラ、一年生雑草	—	—	燻蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 の薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺 虫 剤	劇	1B	エルサン乳剤	収穫3日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ジュウシホシクビナガハムシ	速	短	乳剤	散布	PAP	
	劇	1A	ランネット45DF	収穫3日前まで	1回以内	1,000倍、灌注は1m当り1~3g	100ml	ナメクジ類、ネギアザミウマ	速	短	顆粒水和剤	灌注	メソミル	灌注処理の場合はハスロを使用。
				収穫前日まで		1,000倍(100~300g)		ネギアザミウマ				散布		
		3A	ガードベイトA	収穫前日まで	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン	春先のネキリムシ対策
		3A	アーデント水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(150~500g)	100g	アブラムシ類、カメムシ類、オオタバコガ、ハダニ類	速	中	水和剤	散布	アクリナトリン	
		4A	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	コナジラミ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム	浸透移行性が高い
		4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	ジュウシホシクビナガハムシ・アブラムシ類・ネギアザミウマ・カメムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	浸透移行性が高い
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ジュウシホシクビナガハムシ、カメムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	浸透移行性が高い
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300g)	40~20g	アザミウマ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	食毒・接触毒で速効的な効果
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300g)	40~20ml	アザミウマ類、ハスモンヨウ、オオタバコガ、ジュウシホシクビナガハムシ	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	アザミウマ・鱗翅目幼虫に食毒・接触毒で速効的な効果。(運用に注意する)
					2,500倍(100~500g)	40ml	コナジラミ類							
		6	アフーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ、ハスモンヨウ、ヨウムシ、ハダニ類	速	短	乳剤	散布	エマメクセン安息香酸塩	速効性。食毒・経皮毒として作用
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ハダニ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン	成虫・幼虫・卵に効果○ 産卵抑制効果もあり
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~700g)	25g	コナジラミ類、ネギアザミウマ、カスミカメシ類	速	中	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	経皮・食毒で作用
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~500g)	50ml	ハダニ類、ジュウシホシクビナガハムシ、ヨウムシ、オオタバコガ、ハスモンヨウ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	植物体への浸透移行性がないためかけムラに注意
	劇	14	リーフガード顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67g	アザミウマ類、ナメクジ類、タバココナジラミ	速	中	顆粒水和剤	散布	チオシクラム	摂食・食毒効果
		15	カスケード乳剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(100~500g)	25ml	アザミウマ類、オオタバコガ、ハスモンヨウ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	残効が長いので予防防除に向く
	劇	21A FRAC39	ハチハチフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~800g)	100ml	ネギアザミウマ、アブラムシ類、コナジラミ類、ジュウシホシクビナガハムシ、ツマクシロアオカミカメ	中	中	フロアブル	散布	トルフェンピラド	植物体への浸透移行性がないためかけムラに注意
		23	モベントフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	スピロテトラマト	浸透移行性が高い。残効が長いので予防剤として使用(養液注意)
		25A	ダニサラバフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~500g)	100ml	ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	シフルメトフィン	成虫・卵への効果○ 幼虫への効果◎
		25B	ダニコングフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~700g)	50ml	ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	ピフルブミド	成虫・幼虫・卵に効果○ 残効が長い
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25ml	ハスモンヨウ	速	長	液剤	散布	シアントラニリプロール	展着剤は加用しない。銅剤との混用に注意。鱗翅目・アザミウマに速効性・残効性あり。
	2,000倍(100~300g)					50ml	アザミウマ類	速	長					
	28	プレバソフロアブルS	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ハスモンヨウ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニリプロール	鱗翅目幼虫に速効性、残効性あり	
	28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	オオタバコガ、ヨウムシ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	鱗翅目幼虫に速効性、残効性あり	
2,000倍(100~300g)					50g	ハスモンヨウ								
	29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類、ネギアザミウマ	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	吸汁活動は速効的に阻止し眠死させるため見かけ上速効的	
劇	34	ファインセーブフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~800g)	50ml	アザミウマ類、タバココナジラミ類(シルバリーフコナジラミを含む)	速	中	フロアブル	散布	フロメキン	アザミウマ類に高い速効性	
	UN	プレオフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~500g)	100ml	ハスモンヨウ、オオタバコガ、ヨウムシ、ネギアザミウマ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル	経口・経皮に作用 鱗翅目の中老齢幼虫に効果	
	30	グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~500g)	50ml	アザミウマ類、ハダニ類、ジュウシホシクビナガハムシ、ハスモンヨウ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	対象害虫に速効的に作用する	

◆「ベルコート水和剤」と「コロマイト乳剤」の組み合わせは薬害を生じる場合があります。
 ◆「ハチハチフロアブル」と「ストロビーフロアブル」の組み合わせは薬害を生じる場合があります。

ねぎ登録農薬適用表(1)(殺菌)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回(圃場)	<床土・堆肥>1穴当り3~5ml <圃場>1穴当り2~3m	萎凋病、白絹病、苗立枯病、センチュウ類 ケラ、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1002調整時 の薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤	1		ベンレート水和剤	定植直前	1回	500倍	—	小菌核腐敗病、萎凋病	○	○	水和剤	30分間苗根部浸漬	ベノミル		
				定植前		100~200倍	—					5分間苗根部浸漬			
				収穫30日前まで	1回	500倍 セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約5L)当り500mL	—	小菌核腐敗病				灌注			
	P2		オリゼメート粒剤	土寄せ時 但し収穫30日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300%)	100~50g	小菌核腐敗病	○	×	粒剤	株元散布	プロベナゾール		
	3		モンガリット粒剤	生育期 但し収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	4~6kg	—	小菌核腐敗病	○	○	粒剤	株元散布	シメコナゾール	
				土寄せ時 但し収穫14日前まで			6kg	—	黒腐菌核病						
				4~6kg			—	白絹病、小菌核病							
	3、M3		テーク水和剤	収穫14日前まで	3回以内	600倍 (100~300%)	167g	さび病、べと病、黒斑病、葉枯病	○	○	水和剤	散布	シメコナゾール、マンゼブ		
	3		サブロール乳剤	収穫前日まで	5回以内	800~1,000倍 (100~300%)	125~100ml	さび病	○	○	乳剤	散布	トリホリン		
	M5		ダコニール1000	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300%)	100ml	べと病、黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病、さび病	○	×	フロアブル	散布	TPN		
	40、M5		フロボーズ顆粒水和剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300%)	100g	べと病、葉枯病	○	○	顆粒水和剤	散布	ベンチアバシカルブインプロピル、TPN		
	40、45		ザンブロDMフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	1,500~2,000倍 (100~300%)	67~50ml	べと病	○	○	フロアブル	散布	アメトクラジン、ジメモルフ		
	40、M1		フェスティバルC水和剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300%)	100g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメモルフ、塩基性塩化銅		
	M1		ヨネポン水和剤	収穫7日前まで	4回以内	500倍 (100~300%)	200g	さび病、黒斑病、べと病、軟腐病	○	×	水和剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅		
	24、M1		カスミンボルドー	収穫14日前まで	2回以内	農業総使用回数、合わせて2回以内	1,000倍 (100~300%)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅	
	31、24		カセット水和剤	収穫14日前まで	2回以内	農業総使用回数、合わせて2回以内	1,000倍 (100~300%)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、オキシソニック酸	
	31		スターナ水和剤	収穫7日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	2,000倍 (100~300%)	50g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシソニック酸	
	19		ポリオキシシAL水和剤	収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,000倍 (100~300%)	100g	黒斑病、ネギアザミウマ	○	○	水和剤	散布	ポリオキシシ	
	19、M7		ポリベリン水和剤	収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,500倍 (100~300%)	67g	黒斑病、小菌核腐敗病、黄斑病、葉枯病、ネギアザミウマ	○	○	水和剤	散布	イミノクタジン酢酸塩、ポリオキシシ	
	2		ロブラール水和剤	収穫14日前まで	3回以内		500~1,000倍 (1L/1㎡)	—	白絹病	○	△	水和剤	株元灌注	イブロジオン	
							500倍 (0.5~1L/1㎡)	—	小菌核腐敗病						
							1,000~1,500倍	100~67g	黒斑病、ポトリチス葉枯病、小菌核腐敗病				散布		
	4、11		ユニフォーム粒剤	土寄せ時 但し収穫45日前まで	1回	9kg	—	さび病、白絹病、べと病	○	○	粒剤	株元土壌混和	メタラキシルM アゾキシストロピン		
	11		ストロビーフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300%)	50ml	さび病、黒斑病、黄斑病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル		
	11		アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	4回以内	2,000倍 (100~300%)	50ml	べと病、黄斑病、さび病、黒斑病、葉枯病、リゾクトニア葉鞘腐敗病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン		
	11		メジャーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300%)	50ml	さび病、べと病、黒斑病、葉枯病、白絹病、黒腐菌核病、小菌核病	○	○	フロアブル	散布	ピコキシストロピン		
	21		ランマンフロアブル	収穫3日前まで	4回以内	2,000倍 (150~300%)	50ml	べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド		
	P7		アリエッティ水和剤	収穫3日前まで	3回以内	800倍 (100~300%)	125g	疫病、べと病	○	○	水和剤	散布	ホセチル		
7		アフエツフロアブル	生育期 但し収穫14日前まで	2回以内		1,000~2,000倍 (1L/㎡)	—	白絹病、黒腐菌核病	○	×	フロアブル	株元灌注	ベンチオピラド		
			収穫前日まで			2,000倍 (100~300%)	50ml	黒斑病、さび病、小菌核腐敗病、白絹病、葉枯病、小菌核病				散布			
7		パレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内		2,000~4,000倍 (100~300%)	50~25ml	黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド		
						2,000倍 (100~300%)	50ml	黒腐菌核病、さび病、白絹病							
7		カナメフロアブル	収穫前日まで	4回以内		4,000~8,000倍 (100~300%)	25~12ml	さび病	○	○	フロアブル	散布	インピフルキサム		
						4,000倍 (100~300%)	25ml	黒斑病、葉枯病							
						4,000~8,000倍 (100~300%)	25~12ml	白絹病							
						4,000倍 (100~300%)	25ml	黒腐菌核病							
12		セイビアーフロアブル20	収穫前日まで	3回以内	1,000倍 (100~300%)	100ml	黒腐菌核病、白絹病、小菌核腐敗病	○	○	フロアブル	散布	フルジオキシニル			

◆ポリベリン水和剤についてR7年度から在庫販売になる為、R7年度に農業適用表から削除になりますのでR6年度中での使用をお願いします。

ねぎ登録農薬適用表(2)(殺虫)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	JRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時の重量	適用病害虫	透過性	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		4A	ベストガード粒剤	は種時 定植当日 定植時 収穫前日まで	1回 3回以内	5g/培土L セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約3~4)当り50g 6kg	— — —	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ ネギアザミウマ ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ	○	—	—	粒剤	育苗培土混和 散布 根溝処理土壌混和 株元処理	ニテンピラム		
		4A	スタークル顆粒水溶剤	定植前日~定植時 生育期 但し、収穫14日前まで 収穫3日前まで	1回 1回 2回以内	50倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5~4)当り0.5g 400倍 (0.4L/㎡) 1,000倍 (1L/㎡) 2,000倍 (100~300g)	— — — 50g	アザミウマ類、ハモグリバエ類、シロイチモジトウ、タネバエ、ネギコガ ハモグリバエ類、トビイロヒョウタンゾウムシ、アザミウマ類 クロバネキノコバエ類、アザミウマ類 アザミウマ類	○	中	長	顆粒水溶剤	灌注 株元灌注 散布	ジノテフラン		
		4A	ダントツ粒剤	補付時 収穫3日前まで	1回 4回以内	6kg 3~6kg	— —	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ、タネバエ ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	○	—	—	粒剤	根溝処理土壌混和 株元散布	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意	
		4A	ダントツ水溶剤	収穫3日前まで	4回以内	2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25g	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	○	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意	
		劇	4A	モスビラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	アザミウマ類	○	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
		4A	アクアラ顆粒水溶剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ	○	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアマトキサム	同成分剤の使用回数に注意	
		28、4A	ミネクトデュオ粒剤	育苗期後半 定植時 株元散布 収穫3日前まで	1回 1回 3回以内	農業総使用回数合わせて、定植まで1回以内、定植後3回以内 農業総使用回数合わせて、定植まで1回以内、定植後3回以内	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊当り40g 6kg	— — —	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類、タネバエ、シロイチモジトウ アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類、タネバエ アザミウマ類、シロイチモジトウ、ハモグリバエ類	—	中	長	粒剤	散布 根溝土壌混和 株元散布	シアントラニプロール、チアマトキサム	同成分剤の使用回数に注意
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	シロイチモジトウ、アザミウマ類、ハモグリバエ類	○	速	長	液剤	散布	シアントラニプロール	銅剤との混用注意、同成分剤の使用回数に注意	
		28	ブレバソフロアブル5	育苗期後半~定植当日 収穫3日前まで	1回 3回以内	100倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4)当り0.5g 2,000倍 (100~300g)	— 50ml	ハモグリバエ類 シロイチモジトウ、ネギコガ、ハモグリバエ類	○	速	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニプロール		
		28	ヨーバルフロアブル	育苗期後半~定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	200倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5~4)当り0.5g 2,500~5,000倍 (100~300g) 2,500倍	— 40~20ml 40ml	ネギアザミウマ、ハモグリバエ類 シロイチモジトウ、ネギコガ、ハモグリバエ類、アザミウマ類 クロバネキノコバエ類	—	速	長	フロアブル	灌注 散布	テトラニプロール		
		劇	3A	フォース粒剤	定植時 収穫30日前まで	1回 1回	2回以内 但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は1回以内 9kg 9kg	— —	ネダニ類、クロバネキノコバエ類、ネキリムシ類(4~9kg) ネダニ類、クロバネキノコバエ類	—	—	—	粒剤	作業土壌混和 株元散布	テフルトリン	
		3A	ガードベイトA	生育初期	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	○	—	—	粒剤	株元散布	ベルメリン		
		劇	3A	アグロスリン乳剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍 (100~300g) 2,000倍 (100~300g)	100ml 50ml	シロイチモジトウ アブラムシ類、アザミウマ類、ネギコガ、ネギハモグリバエ	○	速	長	乳剤	散布	シベルメトリン	
		1B	ダイアジノン粒剤G	は種時又は定植時	2回以内	4~6kg	—	コガネムシ類幼虫	○	—	—	粒剤	全面土壌混和 又は 作業土壌混和	ダイアジノン	同成分剤の使用回数に注意	
		1B	スミチオン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300g) 1,000倍 (100~300g) 700~1,000倍 (100~300g)	100~50ml 100ml 143~100ml	アブラムシ類 ネギコガ アザミウマ類	—	速	短	乳剤	散布	MEP		
		劇	14	リーフガード顆粒水和剤	収穫7日前まで	2回以内	1,500倍 (100~300g)	67g	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、ネギコガ	—	速	中	顆粒水和剤	散布	手オンクラム	

↓「殺虫剤」次ページに続きあり

ねぎ登録農薬適用表(3) (殺虫・除草剤)

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調査時の重量	適用病害虫	選速性	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		15	カスケード乳剤	収穫14日前まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25ml	シロイチモジトウ、ネギハモグリハエ、ネギアザミウマ、クロバネキノコバエ類	—	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	
		6、15	アフームエクセラ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300g)	100~67g	シロイチモジトウ	—	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、フルフェノクスロン	
		6	アグリメック	収穫3日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	ネギアザミウマ、ネギハモグリハエ	—	速	短	乳剤	散布	アバメクテン	
		6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	500~1,000倍(100~300g)	200~100ml	アザミウマ類、ネギハモグリハエ	—	速	短	乳剤	散布	アバメクテン	
		1B	マラソン乳剤	収穫7日前まで	6回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	シロイチモジトウ、ネギコガ	—	速	短	乳剤	散布	レビメクテン	
						1,000倍(100~300g)	100ml	ネギアザミウマ、ハモグリハエ類	—	速	短	乳剤	散布	マラソン	
		13	コテツフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	アブラムシ類、アザミウマ類	—	速	短	乳剤	散布	マラソン	
						1,000倍(100~300g)	100ml	ネギハモグリハエ	—	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
		30	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	アザミウマ類、ハモグリハエ類、ネギコガ、シロイチモジトウ、クロバネキノコバエ類	○	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50g	ネギアザミウマ、ネギハモグリハエ、アブラムシ類	—	速	中	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	
		21A、FRAC39	ハチハチ乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	アザミウマ類、ネギコガ、シロイチモジトウ、アブラムシ類、クロバネキノコバエ類、ネギハモグリハエ、さび病、べと病	—	中	中	乳剤	散布	トルフェンピラド	
		UN	ブレオフロアブル	収穫3日前まで	4回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	シロイチモジトウ、ネギアザミウマ	—	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,500~5,000倍(100~300g)	40~20g	アザミウマ類	○	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
						5,000倍(100~300g)	20g	シロイチモジトウ	○	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
	5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300g)	40~20ml	アザミウマ類、シロイチモジトウ、ネギハモグリハエ、ネギコガ	○	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム		
	29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	ネギアザミウマ	○	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理除草剤		クレマート乳剤	定植活着後(雑草発生前)但し定植10日後まで	1回	200~400ml(100~150g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	フタミホス	
		ロロック	定植後 但し、収穫30日前まで (雑草発生前)	1回	100~150g(70~150g)	一年生雑草	水和剤	畦間土壌散布	リニユロン	
			定植30日後以降中耕培土後、但し、収穫30日前まで(雑草発生前)		75~150g(100g)	一年生広葉雑草		雑草茎葉散布又は全面散布		
			ゴーゴーサン細粒剤F	定植後(雑草発生前)但し、定植10日後まで	1回	4~6kg	一年生雑草	粒剤	全面土壌散布	ペンディメタリン
		グラメックス水和剤	定植活着後(雑草発生初期)但し収穫30日前まで	1回	50g~150g(100g)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	シアナジン	
雑草除草剤(選択)		セレクト乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫30日前まで	1回	50~75ml(100g)	一年生イネ科雑草	乳剤	雑草茎葉散布又は全面散布	クレトジム	
		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫30日前まで	1回	150~200ml(100g)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布又は全面散布	セトキシジム	
雑草除草剤(非選択)		ラウンドアップマックスロード	耕起前又は定植5日前まで(雑草生育期)	3回以内	200~500ml(通常散布50~100g、少量散布5~50g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	
			収穫30日前まで(雑草生育期・定植後畦間処理)							
		タッチダウンQ	耕起又は定植7日以前(雑草生育期)	3回以内	250~500ml(25~50g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	
			畦間処理・雑草生育期 但し、収穫7日前まで							
		クサクリーン液剤	耕起又は定植7日前まで(雑草生育期)	3回以内	250~500ml(通常散布50~100g、少量散布25~50g、5~15g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートイソプロピルアミン塩	
			定植後畦間処理 但し、収穫30日前まで(雑草生育期)							
	バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	2回以内	300~500ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート		
毒		ブリグロックスL	畦間処理・雑草生育期 但し、収穫3日前まで	3回以内	600~1,000ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・バラコート	
		播種前又は播付前								

◆「グラメックス水和剤」は次の条件下で薬害の恐れがあるので注意する。①定植1ヶ月未満の活着が不十分な状態。②草丈が20cm以下の場合。③寒期以降気温の高まる時期(20℃を超える)④砂土または砂礫土。

ブロッコリー登録農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時重量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クローロピクリン	—	1回	〈圃場〉2~3mL/1穴	—	クラ、ネキリムシ類、ハカネムシ類、センチュウ類、萎黄病、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クローロピクリン	
						〈床土・堆肥〉3~5mL/1穴	—							
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	は種又は定植21日前まで	1回	20~30kg 30kg	— —	根こぶ病、一年生雑草 フシヤイストセンチュウ	— —	— —	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	ダゾメット	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時重量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		36	ネビリュウ	は種又は定植前	1回	20~30kg 20kg	— —	根こぶ病	○	×	粉粒剤	全面土壌混和 作業土壌混和	フルスルファミド	
		29	フロンスайд粉剤	は種又は定植前	1回	30~40kg 15~20kg	— —	根こぶ病	—	—	粉剤	全面土壌混和 作業土壌混和	フルアジナム	
		29	フロンスайдSC	定植前	1回	500ml (100~200g)	—	根こぶ病	—	—	液剤	全面散布土壌混和	フルアジナム	
		21	ランマンフロアブル	定植前日~当日	1回	500倍セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約2.5~7g)当り2g	—	根こぶ病	○	×	フロアブル	灌注	シアゾファミド	
	収穫14日前まで			1回	2,000倍 (250ml/株)	—	根こぶ病	株元灌注						
	収穫3日前まで			3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	べと病	散布						
		21	オラクル粉剤	定植前	2回以内	30kg 20kg	— —	根こぶ病	○	—	粉剤	全面土壌混和 作業土壌混和	アミスルプロム	
		21	オラクル顆粒水和剤	定植前	2回以内	300g (100g)	—	根こぶ病	○	—	顆粒水和剤	全面散布後土壌混和	アミスルプロム	
					1回	200~500倍セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約3~4g)当り500ml	—	根こぶ病	○	—	顆粒水和剤	灌注		
		P2	オリゼート粒剤	定植時	1回	6~9kg	—	黒腐病	○	×	粒剤	全面土壌混和	プロナゾール	
		31	スターナ水和剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	軟腐病、黒斑細菌病、花蕾腐敗病	○	○	水和剤	散布	オキシリニック酸	
		41	マイコシールド	収穫14日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	花蕾腐敗病	○	×	水和剤	散布	オキシテトラサイクリン	
		7	アフエツフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	菌核病、黒すす病、根朽病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド	
		7	パレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25ml	菌核病、黒すす病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド	
		7, 11	シグナムWDG	収穫7日前まで	2回以内	1,500~2,000倍 (100~300g) 1,500倍 (100~300g)	67~50g 67g	べと病 菌核病、黒すす病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピラロキストロビン、ボスカリド	薬剤調整時、薬剤は少量ずつ入れて調整
		11	アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	べと病、黒すす病、菌核病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	3,000倍 (100~300g)	33g	菌核病、黒すす病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリベンカルブ	
		11	メジャーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	菌核病、べと病、黒すす病	○	○	フロアブル	散布	ピコキシストロビン	
		11, 27	ホライズンドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,500倍 (100~300g)	40ml	べと病、黒すす病	○	○	顆粒水和剤	散布	シモキサニル、ファミキサダン	
		M1	キノドール水和剤40	収穫14日前まで	3回以内	800倍 (100~300g)	125g	黒腐病、黒斑細菌病	○	×	水和剤	散布	有機銅	
		24, M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	4回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	黒腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅	
		M1	ヨネボン水和剤	収穫前日まで	4回以内	500倍 (100~300g)	200g	黒腐病、べと病	○	×	水和剤	散布	ニルフェルホルン酸銅	
		M1	コサイド3000	—	—	1,000倍 (100~300g)	100g	花蕾腐敗病	○	×	水和剤	散布	水酸第二銅	
		M1	クブシールド	—	—	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	黒斑細菌病、花蕾腐敗病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	
	—	マスタピース水和剤	収穫前日まで	—	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	花蕾腐敗病、軟腐病、黒斑細菌病	○	×	水和剤	散布	シュードモナスロデシア		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用病害虫・雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		アグロマックス水和剤	定植後雑草発生前 但し、定植14日後まで	200~300g (100g)	1回	一年生雑草(キク科、カヤツリグサ科を除く)	水和剤	全面土壌散布	プロピザミド	
		フィールドスターP乳剤	定植後(雑草発生前) 但し収穫30日前まで	50~75ml(100g)	1回	一年生雑草(アカザ科、アブラナ科、タデ科を除く)	乳剤	全面土壌散布	ジメタナミドP	高温時、薬害注意
雑草除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し、収穫7日前まで	150~200ml (100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は離間処理)	300~500ml (100~150g)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
	毒	ブリグロックスL	は種前又は補付前 離間処理:雑草生育期 但し、収穫3日前まで	600~1,000ml (100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・ハバロコート	

ブロッコリー登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 重量	適用病害虫・雑草	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤	劇	3A	フォース粒剤	定植時	1回	4kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和	チフルトリリン		
		3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン		
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍(100～300g) 2,000倍(100～300g)	50～25ml 50ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ、シロイチモジヨウ アザミウマ類、アブラムシ類	遅	長	フロアブル	散布	シアントラニリプロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現	
		28	ブリロン粒剤 オメガ	育苗期後半～定植当日 育苗期後半～定植時	1回	4回以内(定植時 まで1回以内、散布は 3回以内)	セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌1.5～4L)当り 50g 1g/株	— —	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、アザミウマ類 コナガ、アオムシ	遅	長	粒剤	散布 株元散布	シアントラニリプロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現
		28、4A	ミネクトデュオ粒剤	播種直後～育苗期後半 定植時	1回	4回以内(定植時 まで1回以内、散布は 3回以内)	セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L) あたり40g 1g/株	— —	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、アザミウマ類 コナガ、アオムシ、アブラムシ類、アザミウマ類、ハマダラメイト	遅	長	粒剤	散布 株元散布	シアントラニリプロール、 チアマトキサム	「28」適用注意コナガ抵抗性発現
		28、4A	ジュリポフロアブル	育苗期後半～定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	4回以内(定植時 まで1回以内、散布は 3回以内)	200倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5g 4,000倍(100～300g)	— 25ml	アブラムシ類、ネキアザミウマ、コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ、ハマダラメイト アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ	遅	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニリプロール、 チアマトキサム	「28」適用注意コナガ抵抗性発現
		28	プレバソフロアブルS	育苗期後半～定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	4回以内(定植時 まで1回以内、散布は 3回以内)	100倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5g 2,000倍(100～300g)	— 50ml	アオムシ、コナガ、ハスモンヨウ アオムシ、コナガ、ハスモンヨウ、ハマダラメイト	遅	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニリプロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現
		28	ヨールフロアブル	育苗期後半～定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	4回以内(定植時 まで1回以内、散布は 3回以内)	200倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5g 2,500～5,000倍(100～300g) 2,500倍	— 40～20ml 40ml	コナガ、アオムシ、ハマダラメイト、ハスモンヨウ、 ネキリムシ類、アブラムシ類 コナガ、アオムシ、ハマダラメイト、ハスモンヨウ、 ヨウメイシ、ウハハシ、アブラムシ類、シロイチモジヨウ アザミウマ類	遅	長	フロアブル	灌注 散布	テトラニリプロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25g	コナガ、ハスモンヨウ、ヨウメイシ、ハマダラメイト	遅	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	「28」適用注意コナガ抵抗性発現	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫14日前まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50g	アオムシ、コナガ、アブラムシ類、アザミウマ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド		
		4A	スタークル顆粒水溶剤	定植時 収穫3日前まで	1回 2回以内	3回以内(定植時 まで1回以内、散布は 2回以内)	100倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5g 2,000～3,000倍(100～300g)	— 50～33g	アブラムシ類、コナガ アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	灌注 散布	ジノテフラン	
		4A	ダントツ水溶剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000～4,000倍(100～300g) 2,000倍(100～300g)	50～25g 50g	アブラムシ類 アオムシ、コナガ	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン		
		4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	3,000倍(100～300g)	33g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアマトキサム		
	劇	4A、5	ガードナーフロアブル	定植3日前～定植当日	1回	100倍、セル型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5g	—	アブラムシ類、アオムシ、ハマダラメイト、コナガ	遅	中	フロアブル	灌注	イミダクロプリド、 スピノサド		
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	5,000倍(100～300g)	20g	コナガ、アオムシ	遅	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド		
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500～5,000倍(100～300g)	40～20ml	オオタバコガ、コナガ、ハマダラメイト、ヨウメイシ、ハスモンヨウ、アオムシ、 ウハハシ、アザミウマ類、シロイチモジヨウ	遅	中	フロアブル	散布	スピネトラム		
		6、15	アフアームエクセラ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000～1,500倍(100～300g) 1,000倍(100～300g)	100～67g 100g	アオムシ、コナガ、ハスモンヨウ、ハマダラメイト シロイチモジヨウ	遅	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン 安息香酸塩、 ルフェネロン		
		6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	コナガ、ハスモンヨウ、アオムシ、シロイチモジヨウ	遅	短	乳剤	散布	レピメクテン		
		UN	プレオフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100～300g)	100ml	コナガ、ハスモンヨウ、シロイチモジヨウ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル		
	劇	1A	ランネット45DF	収穫7日前まで	2回以内	1,000～2,000倍(100～300g) 1,000倍(100～300g)	100～50g 100g	アブラムシ類 ヨウメイシ	遅	短	顆粒水和剤	散布	メソミル		
	劇	14	ハダシSG水溶剤	収穫7日前まで	4回以内	1,500倍(100～300g)	67g	コナガ	遅	中	水溶剤	散布	カルタップ		
	劇	14	リーフガード顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,500倍(100～300g)	67g	コナガ、アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	チオシクラム		
		15	カスケード乳剤	収穫7日前まで	2回以内	4,000倍(100～300g)	25ml	ハスモンヨウ、コナガ、アオムシ、アザミウマ類、ヨウメイシ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノブロン		
	劇	21、 FRAC39	ハチハチ乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド		
		30	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000～3,000倍(100～300g)	50～33ml	コナガ、アオムシ、ヨウメイシ、ウハハシ類、ネキアザミウマ、 ハマダラメイト、オオタバコガ、ハスモンヨウ、シロイチモジヨウ(2,000倍)	遅	長	乳剤	散布	フルキサメタミド		
	劇	13	コテツフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	コナガ、アオムシ、ヨウメイシ、ハスモンヨウ、シロイチモジヨウ	遅	中	フロアブル	散布	クロルフェニジル		
		18	マトリックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	ヨウメイシ	遅	長	フロアブル	散布	クロマフェンジド		
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100～300g)	25g	アブラムシ類	中	長	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン		
		22B	アクセルフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000～2,000倍(100～300g) 1,000倍(100～300g)	100～50ml 100ml	ヨウメイシ、ハスモンヨウ コナガ	中	中	フロアブル	散布	メタフルミゾン		
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000～3,000倍(100～300g)	50～33g	アブラムシ類	遅	長	ドライフロアブル	散布	フロニカミド		
	4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	アブラムシ類	遅	長	フロアブル	散布	スルホキサフロ			
	30	プロフレアSC	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ、ヨウメイシ、オオタバコガ、ウハハシ類、 ハマダラメイト、シロイチモジヨウ	遅	長	フロアブル	散布	プロフラニリド			

カリフラワー登録農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	-	1回	<圃場>2~3ml/1穴	-	ケラ、ネキリムシ類、ハリガネムシ類、センチュウ類、一年生雑草、萎黄病	-	-	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
						<床土・堆肥>3~5ml/1穴	-							
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	は種又は定植21日前まで	1回	30kg	-	根こぶ病(20~30kg)、一年生雑草(20~30kg)、テンサイストセンチュウ	-	-	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する	ダゾメット	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率(10a当り使用量)	100%調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		29	フロンスайд粉剤	は種時又は定植前	1回	15~20kg	-	根こぶ病	-	-	粉剤	作条土壌混和	フルアジナム		
						30~40kg	-					全面土壌混和			
			29	フロンスайдSC	定植前	1回	500ml (100~200ℓ)	-	根こぶ病	-	-	SCフロアブル	全面散布土壌混和	フルアジナム	
			36	ネビリュウ	定植前	1回	20kg	-	根こぶ病	○	×	粉粒剤	作条土壌混和	フルスルファミド	
					20~30kg		-	全面土壌混和							
			21	オラクル粉剤	定植前	2回以内	30kg	-	根こぶ病	○	-	粉剤	全面土壌混和	アミスルプロム	
					20kg		-	作条土壌混和							
			21	オラクル顆粒水和剤	定植前	2回以内	300g (100ℓ)	-	根こぶ病	○	-	顆粒水和剤	全面散布後土壌混和	アミスルプロム	
					1回		200~500倍セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約3~4ℓ)当り500mL	-					灌注		
			21	ランマンフロアブル	定植前日~当日	1回	500倍セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約2.5~7ℓ)当り2ℓ	-	根こぶ病	○	△	フロアブル	灌注	シアソファミド	
				収穫14日前まで	2,000倍 (250ml/株)		-	株元灌注							
				収穫3日前まで	2,000倍 (100~300ℓ)		50ml	べと病					散布		
			P2	オリゼート粒剤	定植時	1回	6~9kg	-	軟腐病	○	×	粒剤	全面土壌混和	プロベナゾール	
		31	スターナ水和剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシニニック酸		
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	菌核病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル		
		7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	菌核病、根朽病、黒すす病	○	×	フロアブル	散布	ペンチオピラド		
		M1	ヨネポン水和剤	収穫前日まで	4回以内	500倍 (100~300ℓ)	200g	黒腐病	○	×	水和剤	散布	ノルフェノールスルホン酸銅		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤(選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期(収穫7日前まで))	1回	150~200ml (100~150ℓ)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布又は全面散布	セトキシジム	
茎葉除草剤(非選択性)	毒	ブリグロックスL	播種又は植付前 雑草生育期: 畦間処理(収穫30日前まで)	3回以内	600~1,000ml (100~150ℓ)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・パラコート	

カリフラワー登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン	
		1B	ダイアジノン粒剤5	播種時又は定植時 収穫30日前まで 定植時	2回以内	生育期の 処理は1 回 4~6kg 4~6kg 6kg	— — —	ネキリムシ類、ケラ コガネムシ類幼虫 ネキリムシ類	— — —	— — —	粒剤	作付前: 全面土壌混和又は作業土壌混和 作物生育中: 作業処理して軽く覆土 土壌表面散布	ダイアジノン	
	劇	1B	エルサン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300%) 1,000倍 (100~300%) 1,000~1,500倍 (100~300%)	100~50ml 100ml 100~67ml	アオムシ、アブラムシ類、ハイマダラメイガ、キジノミハムシ ハスモンヨウ、ヨウムシ、アザミウマ類、カブラハバチ幼虫 コナガ	速	短	乳剤	散布	PAP	
	劇	1A	ランネット45DF	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍 (100~300%)	100g	アブラムシ類、ヨウムシ	速	短	ドライ フロアブル	散布	メソミル	
	劇	2B	プリンスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300%)	50ml	コナガ、ハイマダラメイガ	遅	長	フロアブル	散布	フィブロニル	
		29	ウララDF	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300%)	50g	アブラムシ類	遅	長	ドライ フロアブル	散布	フロニカミド	
		4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000~3,000倍 (100~300%)	50~33g	アブラムシ類	中	長	顆粒 水溶剤	散布	チアトキサム	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300%)	50g	アブラムシ類、コナガ、アオムシ	中	長	顆粒 水溶剤	散布	アセタミプリド	
		30	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000~3,000倍 (100~300%)	50~33ml	アオムシ、コナガ、ネギアザミウマ、ハスモンヨウ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
		30	プロフレアSC	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍 (100~300%)	50~25ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ、ヨウムシ、ウツハ類、 ハイマダラメイガ、オオタバコガ、シロイチモンジヨウ	速	長	フロアブル	散布	プロフアコリド	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300%)	50ml	コナガ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナピル	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	5,000倍 (100~300%)	20g	コナガ	速	短	顆粒 水和剤	散布	スピノサド	
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2500~5,000倍 (100~300%)	40~20ml	コナガ、アザミウマ類、アオムシ、ヨウムシ、ハスモンヨウ、 ハイマダラメイガ	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	
		6	アフーム乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300%)	100~50ml	コナガ、アオムシ、アザミウマ類、オオタバコガ	速	短	乳剤	散布	エマメクタン安息香酸塩	
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300%)	100~50ml	コナガ、ハスモンヨウ	速	短	乳剤	散布	レピメクテン	
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍 (100~300%)	25g	アブラムシ類	中	中	顆粒 水和剤	散布	ピリフルキナゾン	
		28	プレバゾンフロアブル5	育苗期後半~定植当日 収穫前日まで	4回以内(但し、灌注は 1回以内、散布は3回以 内)	100倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30× 60cm、使用土壌約1.5~4)当り0.5g 2,000倍 (100~300%)	— 50ml	アオムシ、コナガ、ハスモンヨウ コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ	速	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニリプロール	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍 (100~300%)	50~25g	コナガ、ハイマダラメイガ、ヨウムシ	速	長	顆粒 水和剤	散布	フルベンジアミド	

キャベツ登録農薬適用表(1) (殺菌)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		36	ネビリュウ	定植前 は種又は定植前	2回以内	20kg	—	根こぶ病	○	×	粉粒剤	作業土壌混和	フルスルファミド		
						20~30kg	—					全面土壌混和			
		29	フロンサイドSC	は種又は定植前	2回以内 (但し苗床では1回以内、本圃では1回以内)	500ml (100~200g)	—	根こぶ病、菌核病、苗立枯病(リゾクニア菌)	—	—	フロアブル	全面散布土壌混和	フルアジナム	ブーム等で全面処理可能	
		21	オラクル顆粒水和剤	定植前	1回	200~500倍 セル成型育苗トレイ1箱(30~60cm、使用土壌約3~4)当り 500mL	—	根こぶ病	○	△	顆粒水和剤	灌注	アミスルプロム		
		21	オラクル粉剤	定植前	2回以内	20kg	—	根こぶ病	○	△	粉剤	全面土壌混和	アミスルプロム		
	30kg					—	作業土壌混和								
	20kg					—									
		21	ランマンフロアブル	定植前日~当日	1回	6回以内(育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は4回以内)	500倍 セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌2.5~7g)当り2g	—	根こぶ病	○	△	フロアブル	灌注	シアゾファミド	
	収穫14日前まで			1回	2,000倍 (250mL/株)		—	株元灌注							
	収穫3日前まで			4回以内	2,000倍 (100~300g)		50mL	散布							
		M5	ダコニール1000	収穫14日前まで	2回以内	1,000倍 (100~300g)	100mL	べと病、根朽病	○	×	フロアブル	散布	TPN		
		M1	キノードフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	800~1,000倍 (100~300g)	125~100mL	黒腐病	○	×	フロアブル	散布	有機銅		
		31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	軟腐病、黒斑細菌病	○	×	水和剤	散布	オキシソニック酸	
		31、24	カセット水和剤	収穫7日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	黒斑細菌病、黒腐病、軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシソニック酸、カスガマイシン	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	4回以内	農業総使用回数、合わせて4回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	黒腐病、軟腐病、黒斑細菌病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン・塩基性塩化銅	
		M1	ヨネボン水和剤	収穫7日前まで	5回以内	500倍 (100~300g)	200g	黒腐病、軟腐病、べと病、アブラムシ類	○	×	水和剤	散布	ニソルフェノールスルホン酸銅		
		U18	バリダシン液剤5	収穫7日前まで	5回以内	800倍 (100~300g)	125mL	株腐病、黒腐病、軟腐病	○	○	液剤	散布	バリダマイシン	細菌性病害の初期防除に	
		2	ロブラール水和剤	収穫7日前まで	4回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	菌核病、株腐病	○	△	水和剤	散布	イブゾジオン		
		11	アミスター20フロアブル	収穫7日前まで	4回以内	2,000倍 (100~300g)	50mL	株腐病、菌核病、黒斑病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン		
		11	メジャーフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50mL	株腐病、菌核病、べと病	○	○	フロアブル	散布	ピコキシストロピン		
	1	トップジンM水和剤	収穫3日前まで	2回以内	1,000~1,500倍 (100~300g)	100~67g	菌核病、(1000倍)根朽病、株腐病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル			
	7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50mL	菌核病、株腐病、根朽病、灰色かび病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド			
	7	バレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25mL	菌核病、株腐病、根朽病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド			
	40	フェスティバル水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメトモルフ			
	M1	クプロシールド	—	—	1,000~2,000倍 (100~300g)	100mL	黒腐病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	結球期以降薬害注意		
	—	マスタピース水和剤	収穫前日まで	—	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	軟腐病、黒斑細菌病、黒腐病	○	×	水和剤	散布	シュードモナスロゲシア	長雨時有効剤		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理除草剤		ラッソー乳剤	定植8日後まで	150~200ml (100g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アラクロール	
		フィールドスターP乳剤	定植後雑草発生前 (但し定植後10日後まで)	50~75ml (100g)	1回	一年生雑草(アカザ科、アブラナ科、タデ科を除く)	乳剤	全面土壌散布	ジメテナミドP	
		アグロマックス水和剤	定植直後雑草発生前	200~300g (100g)	1回	一年生雑草(キク科、カヤツリグサ科を除く)	水和剤	全面土壌散布	プロピザミド	
茎葉除草剤(選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫14日前まで	150~200ml (100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	
		ポルトフロアブル	雑草生育期(イネ科雑草3~8葉期) 収穫30日前まで	200ml (100g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	フロアブル	雑草茎葉散布 または全面散布	キザロホップエチル	
茎葉除草剤(非選択性)		バスタ液剤	収穫45日前まで (雑草生育期定植前又は睡眠処理)	300~500ml (100~150g)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホシネート	

キャベツ登録農薬適用表(2)(殺虫)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考								
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	<圃場>1穴当り2~3ml <床土・堆肥>1穴当り3~5ml	—	萎黄病、根こぶ病、センチュウ類、ハリガネムシ類 ネキリムシ類、ケラ、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン									
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	は種又は定植21日前まで	1回	20~30kg	—	根こぶ病、バネテリウム萎凋病、苗立枯病(リソトコニア菌)、株腐病、一年生 雑草、ネオアセンナコフ、萎黄病	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット									
殺虫剤		3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	○	速	長	粒剤	株元散布	ベルメリン	雨に当たると効果減少							
	劇	3A	フォース粒剤	定植時	1回	4kg	—	ネキリムシ類	—	—	—	粒剤	※土壌混和	テフルリン								
		3A	トレボン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ	○	速	中	乳剤	散布	エトフェンプロックス								
		28、4A	ミネクトデュオ粒剤	播種覆土後~育苗期後半	1回	セル成型育苗トレイ1箱40g	—	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ	○	速	長	粒剤	散布	シアントラニプロール、 チアトキサム	「28」適用注意コナガ抵抗性発現							
		28、4A	ジュリポフロアブル	は種時~育苗期後半				1,000倍(苗地床1㎡当り2L)						—	アブラムシ類、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ネギアザミウマ、ハ スモンヨトウ、コナガ、ネキリムシ類、ヨトウムシ	○	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニプロール、 チアトキサム	「28」適用注意コナガ抵抗性発現
			育苗期後半~定植当日	200倍セル成型育苗トレイ1箱(約30× 60cm使用土壌約1.5~42)当り0.5g				—						アブラムシ類、ネギアザミウマ、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハ スモンヨトウ、ハイマダラノメイガ								
			収穫3日前まで	3回以内	4,000倍(100~300L)	25ml	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、アブラムシ類、ハ イマダラノメイガ、オオタバコガ															
		28	ブレバソフロアブル5	育苗期後半~定植当日	1回	100倍セル成型トレイ1箱またはペ ーパーポット1冊(約30×60cm使用土壌 約1.5~42)当り0.5g	—	アオムシ、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、ハイマダラノメイ ガ、ネキリムシ類、カブラハバチ	○	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニプロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現							
				収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アオムシ、ウワバ類、コナガ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイ ガ、ヨトウムシ、オオタバコガ	○	速	中	フロアブル	散布	テトラニプロール	チョウ目+アブラムシなど							
		28	ヨーバルフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,500倍~5,000倍(100~300g)	40~20ml	アオムシ、ウワバ類、コナガ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ、ヨトウム シ、オオタバコガ、アザミウマ類、アブラムシ類、シロイチモジヨトウ														
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	5回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類、アザミウマ類	○	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド								
						1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	アオムシ、コナガ、キスジノミハムシ	○	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル								
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000(100~300g)	50ml	アブラムシ類、ネギアザミウマ														
	劇	1A	ランネット45DF	収穫14日前まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、アブラムシ類、 タナギンウワバ	○	速	短	顆粒水和剤	散布	メソミル								
		1B	マラソン乳剤	収穫前日まで	5回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	アブラムシ類、アザミウマ類	—	速	短	乳剤	散布	マラソン								
						1,000倍(100~300g)	100ml	アオムシ、カブラハバチ														
	劇	21A、 FRAC 39	ハチハチ乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ	—	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド								
						1,000倍(100~300g)	100ml	アザミウマ類														
	劇	14	バダンSG水溶剤	収穫14日前まで	4回以内	1,500倍(100~300g)	67g	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ナメクジ類	—	遅	中	水溶剤	散布	カルタップ	紫外線照射のため効果は1週間							
	劇	14	リーフガード顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,500倍(100~300g)	67g	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ナメクジ類、ハイマダラノメイ ガ、アザミウマ類	—	速	中	顆粒水和剤	散布	チオシクラム	紫外線照射のため効果は1週間							
		30	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	コナガ、アオムシ、ウワバ類、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ オオタバコガ、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ	○	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド								
		UN	ブレオフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、シロイチモジヨ トウ	—	中	長	フロアブル	散布	ビリダリル								
		6、15	アフームエクスセラ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300g)	100~67g	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、ハイマダラノメイ ガ、タナギンウワバ	—	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクエン安息香酸塩、 ルフェスロン	殺卵効果あり							
						1,000倍(100~300g)	100g	ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ														
		6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ オオタバコガ、ウワバ類	—	速	短	乳剤	散布	レビメクテン								
						2,000倍(100~300g)	50ml	シロイチモジヨトウ														
	5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,500~5,000倍(100~300g)	40~20g	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、タナギンウワバ	○	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド									
					5,000倍(100~300g)	20g	ハイマダラノメイガ、アザミウマ類															
劇	34	ファインセーフフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	1000~2000倍	100~50ml	コナガ、アザミウマ類	—	速	中	フロアブル	散布	フロトキシン									
					1,000倍	アオムシ																
	5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300g)	40~20ml	ウワバ類、コナガ、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ、アオムシ オオタバコガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ハエモグリハエ類	○	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム									
	9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	3000~4,000倍(100~300g)	33~25g	アブラムシ類	—	中	長	顆粒水和剤	散布	ビリフルキナゾン									
					3,000倍(100~300g)	33g	ネギアザミウマ															
劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、タナギンウワバ、アオムシ シロイチモジヨトウ、オオタバコガ、ハイマダラノメイガ	—	速	中	フロアブル	散布	クオルフェナビル									
	22B	アクセルフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	コナガ、アオムシ、キスジノミハムシ	—	遅	長	フロアブル	散布	メタフルミゾン									
					1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ヨトウムシ、ウワバ類															
	29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33g	アブラムシ類	—	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニコミド									

パセリ登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種又は定植21日前まで	1回	30kg	—	疫病、苗立枯病(リゾトニア菌)、萎凋病、一年生雑草	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	
	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	1穴当り3ml	—	立枯病、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
殺菌剤		M1	キノンドー微粒剤	播種前 生育期(収穫90日前まで)	1回 1回	20kg	— —	軟腐病	—	—	粒剤	土壌表面散布 (露地栽培)	有機銅	露地栽培登録
	1		ベンレート水和剤	収穫45日前まで	2回以内	1,000倍 (30ℓ/1㎡)	100g	立枯病	○	○	水和剤	灌注	ベンゾル	
	11、4		ユニフォーム粒剤	収穫21日前まで	3回以内	12kg	—	疫病	—	—	粒剤	株元散布	アゾキシストロビン、メタラキシルM	
	11		ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	1回	3,000倍 (100~300ℓ)	33ml	うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
	31		スターナ水和剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキリニック酸	
	M1		ヨネボン(乳剤)	収穫14日前まで	3回以内	700倍 (100~300ℓ)	143ml	うどんこ病、軟腐病、斑点病、アブラムシ類	○	×	乳剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅	
	M1		Zボルドー	—	—	800倍 (100~300ℓ)	125g	軟腐病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
	9		フルピカフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	3,000倍 (100~300ℓ)	33g	うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	メバニピリム	
	3		スコア顆粒水和剤	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (200~400ℓ)	50g	うどんこ病	○	○	顆粒水和剤	散布	ジフェノコナゾール	
	7		アフエツフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド	
殺虫剤	劇	1B	ランネット45DF	収穫30日前まで	1回	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	アブラムシ類	速	短	顆粒水和剤	散布	メソミル	
		4A	アドマイヤー1粒剤	定植時 は種時 収穫14日前まで	1回	0.5g/株 3kg	— —	アザミウマ類 アブラムシ類	—	—	粒剤	植穴土壌混和 播溝散布 株元散布	イミダクロプリド	
	劇	4A	アドマイヤーフロアブル	収穫14日前まで	1回	4,000倍 (100~300ℓ)	25ml	アブラムシ類	中	長	フロアブル	散布	イミダクロプリド	
		4A	ダントツ水溶剤	収穫14日前まで	1回	4,000倍 (100~300ℓ)	25g	アブラムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫3日前まで	1回	8,000倍 (100~300ℓ)	13g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
		28、4A	ジュリポフロアブル	育苗期後半~定植当日	1回	200倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5~4.2)当り0.5g	—	ハスモンヨトウ	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニリブロール、アトキサム	灌注処理
		28	プレバゾンフロアブル5	収穫7日前まで	1回	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニリブロール	
	劇	3A	フォース粒剤	播種時又は定植時	1回	4kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	播溝、播溝又は全面土壌混和	テフルトリン	
		3A	アーデント水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300ℓ)	100g	ネギアザミウマ	速	中	水和剤	散布	アクリナトリン	
		3A	テルスター水和剤	収穫3日前まで	2回以内	1,000倍 (100~300ℓ)	100g	アブラムシ類	速	中	水和剤	散布	ピフェントリン	
		3A	ガードベイトA	収穫前日まで	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ペルメトリン	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫14日前まで	2回以内	2,500倍 (100~300ℓ)	40g	ヨトウムシ	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
		15	カスケード乳剤	収穫7日前まで	1回	4,000倍 (100~300ℓ)	25ml	ハスモンヨトウ	遅	長	乳剤	散布	フルフェクスロン	
		6	アフアーム乳剤	収穫7日前まで	1回	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	ハスモンヨトウ	速	短	乳剤	散布	エマメクチン安息香酸塩	
		6	コロマイト乳剤	収穫3日前まで	1回	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	ハダニ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクチン	幼虫・成虫・発卵効果○ セリ科薬類登録
		18	マトリックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	ハスモンヨトウ	中	中	フロアブル	散布	クロマフェノジド	
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	
雑草除草剤(非選択性)			クレマート乳剤	播種後発芽前(雑草発生前)	1回	200~400ml (100~150ℓ)	—	一年生雑草	—	—	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
			バスタ液剤	収穫3日前まで(雑草生育期定植前、又は畦間処理)	2回以内	300~500ml (100~150ℓ)	—	一年生雑草	—	—	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
	毒		ブリグロックスL	播種前又は植付前 雑草生育期但し、収穫7日前まで(畦間処理)	3回以内	600~1,000ml (100~150ℓ)	—	一年生雑草	—	—	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット、バラコート	

ほうれんそう登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用対象病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クローレピクリン	—	1回	<床土・堆肥>1穴当り3~5mL <圃場>1穴当り2~3mL	—	立枯病、萎凋病、苗立枯病、根腐病 殊腐病、ケラ、バリエチン類、セチチン類 ネキリムシ類、ホウレンソウケナガコナダニ、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クローレピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種10日前まで	1回	20~30kg 10kg	—	立枯病、萎凋病、株腐病、根腐病 ホウレンソウケナガコナダニ、一年生雑草 ホウレンソウケナガコナダニ	—	—	微粒剤	本剤の所定量を均一に 散布して土壌と混和する 本剤の所定量を均一に 散布してよく混和する	ダゾメット	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤	劇	4、11	ユニフォーム粒剤	播種前	1回	9kg	—	白班病、べと病	—	—	粒剤	全面土壌混和	メタラキシルM アゾキシストロピン	
		7	バシタック水和剤75	は種前 は種時~子葉展開時	1回	200倍 (1時間種子浸漬) 1,000倍 (24時間種子浸漬) 750~1,500倍 (3ℓ/㎡)	— — —	苗立枯病 (リソクトニア菌)	○	○	水和剤	種子浸漬 土壌灌注	メブロニル	
		32	タチガレン液剤	は種前 は種時 は種時	1回	50~100倍 (300mL/㎡) 500~1000倍 (3L/㎡) 1500~3000倍 (9L/㎡)	— — —	立枯病	○	△	液剤	全面散布後 土壌混和 土壌灌注	ヒドロキシシノキサゾール	
		M1	ヨネボン水和剤	収穫14日前まで	4回以内	500倍 (100~300ℓ)	200g	べと病	○	×	水和剤	散布	ニルフェノールスルホン酸銅	
		M1	コサイド3000	—	—	1,000倍 (100~300ℓ)	100g	べと病、白班病	○	×	水和剤	散布	水酸化第二銅	高温時の薬害注意
		21	ランマンフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド	
		P7	アリエッティ水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍 (100~300ℓ)	67g	べと病、白班病	○	○	水和剤	散布	ホセチル	
		U17	ビシロックフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍 (100~300ℓ)	100ml	べと病	○	×	フロアブル	散布	ピカルトブラゾクス	
		40	フェスティバル水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメトモルフ	

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ダイアジノン粒剤5	は種前 は種時	1回	6kg	—	ヒメクロユスリカ タネバエ	—	—	粒剤	土壌混和 作業土壌混和 又は土壌表面散布	ダイアジノン	
		1B	スミチオン乳剤	収穫21日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300ℓ)	100~50ml	アブラムシ類、ホウレンソウケナガコナダニ	速	短	乳剤	散布	MEP	幼苗期の薬害に注意
		1B	マラソン乳剤	収穫14日前まで	4回以内	2,000~3,000倍 (100~300ℓ)	50~33ml	アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	マラソン	
	劇	1A	ランネット45DF	収穫14日前まで	4回以内	1,000~2,000倍 (100~300ℓ) 1,000倍 (100~300ℓ)	100~50g 100g	ヨトウムシ、ミナキイロアザミウマ アブラムシ類	速	短	顆粒水和剤	散布	メソミル	
		3A	ガードベイトA	生育初期	2回以内	3kg	—	ネキリムシ類	速	長	粒剤	株元散布	ベルメリン	
		21A	ダニロンフロアブル	収穫21日前まで	1回	2,000倍 (150~300ℓ)	50ml	ハダニ類	中	長	フロアブル	散布	フェンピロキシメート	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫14日前まで	2回以内	8,000倍 (100~300ℓ)	12.5g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
	劇	4A	アドマイヤーフロアブル	収穫前日まで	2回以内	4,000倍 (100~300ℓ)	25ml	アブラムシ類、アザミウマ類、ウリハムシモドキ	中	長	フロアブル	散布	イミダクロプリド	
	劇	14	バダシSG水溶剤	収穫7日前まで	2回以内	1,500倍 (100~300ℓ)	67g	ミナキイロアザミウマ、 アングロハモグリバエ、シロオビノメイガ	遅	中	水溶剤	散布	カルタップ	
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル	
		6	アフーム乳剤	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	ハスモンヨトウ、ホウレンソウケナガコナダニ	速	短	乳剤	散布	エマメクセン安息香酸塩	
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300ℓ)	100~50ml	ハスモンヨトウ	速	中	乳剤	散布	レビメクセン	
		28	ブレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	ハスモンヨトウ、シロオビノメイガ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニプロロール	
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	4,000倍 (100~300ℓ)	25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		ラッソー乳剤	播種直後	1回	150ml (100ℓ)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アラクロール	
		アーザラン液剤	播種後~子葉展開期	1回	秋播き: 600~800ml (100~200ℓ)、 春~初夏播き: 800~1000ml (100~200ℓ)、 但し、芽出し播きは800ml (100~200ℓ)	一年生雑草	液剤	全面土壌散布	アシュラム	
		クロロIPC	播種直後	1回	100~200ml (70~100ℓ)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	IPC	
雑草除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期 (イネ科雑草3~5葉期) (但し収穫7日前まで)	1回	150~200ml (100~150ℓ)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	

セルリー登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌 消毒	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種又は定植21日前まで	1回	30kg	—	萎黄病、一年生雑草	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		1	トップジンM水和剤	収穫60日前まで	2回以内	1,500倍 (100~300ℓ)	67g	斑点病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300ℓ)	100g	軟腐病、斑点病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅	
		M5	ダコニール1000	収穫21日前まで	2回以内	1,000倍 (100~300ℓ)	100ml	斑点病、萎縮炭疽病	○	×	フロアブル	散布	TPN	
		31	スターナ水和剤	収穫14日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	軟腐病	○	×	水和剤	散布	オキシソニック酸	
		11	アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	4回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	斑点病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン	
		11	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3,000倍 (100~300ℓ)	33ml	斑点病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
		3	スコア顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (200~400ℓ)	50g	斑点病	○	○	顆粒水和剤	散布	ジフェノコナゾール	

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		4A	アクタラ粒剤5	定植時(植穴処理) 又は鉢上時(土壌混和)	2回以内	2g/株	—	ナメグリハエ	—	—	粒剤	植穴処理 又は土壌混和	チアトキサム	
	劇	1A	ランネート45DF	収穫30日前まで	2回以内	1,000倍 (100~300ℓ)	100g	アブラムシ類、ヨウムシ、ハスモントウ	速	短	ドライ フロアブル	散布	メソミル	
	劇	21A FRAC 39	ハチハチフロアブル	収穫30日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	アブラムシ類、ナメグリハエ	遅	中	フロアブル	散布	トルフェンピラド	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	ヨウムシ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
		15	カスケード乳剤	収穫14日前まで	3回以内	4,000倍 (100~300ℓ)	25ml	コナジラミ類、マメハモグリハエ、ハスモントウ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	
		14	リーフガード顆粒水和剤	収穫7日前まで	2回以内	1,500倍 (100~300ℓ)	66g	ナメクジ類	速	中	顆粒水和剤	散布	チオシクラム	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2回以内	4,000倍 (100~300ℓ)	25g	アブラムシ類、ナメグリハエ、アザミウマ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
		4A	ダントツ水溶剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000~4,000倍 (100~300ℓ)	50~25g	アブラムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	
						2,000倍 (100~300ℓ)	50g	ハモグリハエ類						
		6	アフーム乳剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	オオタバコガ、タバコガ、ハスモントウ ヨウムシ、ハモグリハエ類	速	短	乳剤	散布	エマメクチン安息香酸塩	
		6	コロマイト乳剤	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	ハダニ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクチン	幼虫・成虫・殺卵効果○
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,500倍 (100~300ℓ)	40g	ハモグリハエ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	4,000倍 (100~300ℓ)	25g	アブラムシ類	遅	長	ドライ フロアブル	散布	フロニカミド	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍 (100~300ℓ)	50~25g	ハスモントウ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	雑草生育期定植前又は畦間処理 (収穫7日前まで)	300~500ml(100~150ℓ)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
雑草除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~6葉期 (但し、収穫28日前まで)	150~200ml(100~150ℓ)	2回以内	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	
土壌処理 除草剤		ロロックス	定植後、但し定植7日後まで(雑草発生前)	100~150g(70~150ℓ)	1回	一年生雑草	水和剤	畦間土壌散布	リニユロン	

野沢菜登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロロルピクリン	—	1回	<床土・堆肥>1穴当り3~5mL <圃場>1穴当り2~3mL	—	萎黄病、ハガネムシ類、ネキリムシ類、センチュウ類 ケラ、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロロルピクリン	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		36	ネビリュウ	播種前	1回	30kg 20kg	—	根こぶ病	○	×	粉粒剤	全面土壌混和 作業土壌混和	フルスルファミド	
		21	オラクル粉剤	播種前または定植前	2回以内	20~30kg	—	根こぶ病	○	×	粉剤	全面土壌混和	アミスルプロム	
		21	ランマンフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍(100~300%)	50ml	白さび病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド	
		1	ベンレート水和剤	収穫21日前まで	1回	4,000倍(100~300%)	25g	炭疽病、白斑病	○	○	水和剤	散布	ベノミル	
		11	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	3,000倍(100~300%)	33ml	べと病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
		M1	ヨネポン水和剤	収穫7日前まで	4回以内	500倍(100~300%)	200g	白さび病、軟腐病	○	×	水和剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅	

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ダイアジン粒剤5	播種時 は種時又は定植時	1回	6kg	—	ケラ、キスジノミハムシ ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和	ダイアジン	
	劇	3A	フォース粒剤	播種時	1回	4kg	—	ネキリムシ類、キスジノミハムシ	速	中	粒剤	全面土壌混和	テフルトリン	
		4A	アクタラ粒剤5	播種時	1回	6kg	—	アブラムシ類	中	長	粒剤	作業混和	チアメトキサム	
		4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍(100~300%) 3,000倍(100~300%)	50g 33g	アブラムシ類 キスジノミハムシ	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアメトキサム ジノテフラン	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫14日前まで	1回	2,000倍(100~300%)	50ml	コナガ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
		6	アフーム乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300%)	100~50ml	コナガ、アオムシ	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩	
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300%)	100~50ml	キスジノミハムシ、コナガ、ハスシヨトウ、ハモグリバエ類	速	短	乳剤	散布	レピメクテン	
		28	プレバソフロアブル5	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300%)	50ml	コナガ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニリブロール	
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(100~300%)	25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	
		11A	トアローフロアブルCT	発生初期 但し、収穫前日まで	—	500倍(100~300%)	200ml	ヨトウムシ	中	短	フロアブル	散布	BT	

◆銅剤の使用について・・・散布後、葉面に薬が付着しやすいので収穫期は注意して散布しましょう。

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		ラッソー乳剤	播種直後	150ml(100%)	1回以内	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アラクロール	
茎葉除草剤 (選択剤)		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫7日前まで	150~200ml(100~150%)	1回以内	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布または全面散布	セトキシジム	

はくさい登録農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		P2	オリゼメート粒剤	は種又は定植前	1回	6~9kg	—	軟腐病	○	×	粒剤	全面 土壌混和	プロベナゾール		
		36	ネビリュウ	は種又は定植前 定植前	1回	20~30kg 20kg	— —	根こぶ病	○	×	粉粒剤	全面 土壌混和 作業 土壌混和	フルスファミド		
		21	オラクル粉剤	は種又は定植前 定植前	2回以内	30kg 20kg	— —	根こぶ病	○	×	粉剤	全面 土壌混和 作業 土壌混和	アミスルプロム		
		21	ランマンフロアブル	定植前日~当日 収穫14日前まで 収穫3日前まで	1回 1回 4回以内	6回以内 (育苗期灌水1 回以内、本圃灌 注1回以内、散 布4回以内)	500倍 セル成型育苗トレイ1箱(30× 60cm、使用土壌約2.5~7ℓ)当り2ℓ 2,000倍(250ml/株) 2,000倍(100~300ℓ)	— — 50ml	根こぶ病 べと病、ピシウム腐敗病、白さび病	○	△	フロアブル	灌注 散布	シアゾファミド	
		2	ロブラール水和剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300ℓ) 1,000倍(100~300ℓ)	100~67g 100g	白斑病、黒斑病 菌核病	○	△	水和剤	散布	イプロジオン		
		40、M1	フェスティバルC水和剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジトモル・銅		
		M1	ヨネボン水和剤	結球開始まで (但し収穫14日前まで)	4回以内	500倍(100~300ℓ)	200g	軟腐病、べと病	○	×	水和剤	散布	ノルフェノールスルホン酸銅		
		1	トップジンM水和剤	収穫7日前まで	2回以内	1,500~2,000倍(100~300ℓ) 1,500倍(100~300ℓ)	67~50g 67g	菌核病 白斑病、炭疽病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル		
		11	アミスター20フロアブル	収穫7日前まで	4回以内	2,000~3,000倍(100~300ℓ) 2,000倍(100~300ℓ)	50~33ml 50ml	白斑病 べと病、黒斑病、白さび病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン		
		11	ストロビーフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	3,000倍(100~300ℓ)	33ml	黒斑病、白斑病、べと病	○	○	フロアブル	散布	クソキシムメチル		
		M5	ダコニール1000	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	黒斑病、白斑病、べと病、白さび病	○	×	フロアブル	散布	TPN		
		31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100g	黒斑細菌病、軟腐病	○	×	水和剤	散布	オキリニック酸		
		17	メジャーフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	黒斑病、白さび病、白斑病、べと病	○	○	フロアブル	散布	ピコキシストロビン		
		U18	バリダシン液剤5	収穫3日前まで	3回以内	500倍(100~300ℓ)	200ml	黒斑細菌病、軟腐病	○	○	液剤	散布	バリダマイシン		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		クレマート乳剤	定植前(雑草発生前)	1回	200ml(100~150ℓ)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アタホス	
		ラッソー乳剤	播種直後	1回	150ml(100ℓ)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アラクロール	
茎葉処理 除草剤 (非選択性)		ラウンドアップマックスロード	耕起前又は定植5日前まで(雑草生育期)	1回	200~500ml(通常散布50~100ℓ、少量散布25~50ℓ)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	
	毒	ブリグロックスL	播種前又は植付前、 畦間処理:雑草生育期(収穫3日前まで)	3回以内	600~1,000ml(100~150ℓ)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・パラコート	

はくさい登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		4A	アドマイヤー1粒剤	定植時	1回	0.5g/株	—	アブラムシ類	—	—	粒剤	種穴土壌混和	イダクロプリド		
		3A	ガードベイトA	は種時～生育初期	5回以内	3kg/10a	—	ネキリムシ類			粒剤	株元散布	ベルメトリン		
		劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50g	アオムシ、コナガ	中	長	顆粒 水溶剤	散布	アセタミプリド	
	2,000～4,000倍 (100～300g)						50～25g	アブラムシ類							
	4,000倍 (100～300g)						25g	カブラハバチ							
		28、4A	ジュリボフロアブル	育苗期後半～定植当日	1回	定植時まで1回 以内、散布3回 以内	200倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30× 60cm使用土壌約1.5～4g)当り0.5g	—	アブラムシ類、コナガ、ヨウムシ、ハイマダラメイガ、ハスモンヨウ、キス ジ/ミハムシ、カブラハバチ	速	長	フロアブル	灌注	クロトコニロピロール、 チアチキサム	
	収穫3日前まで			3回以内	4,000倍 (100～300g)		25ml	コナガ、ヨウムシ、ハイマダラメイガ、アブラムシ類、ハスモンヨウ	散布						
		28	ブレバソフロアブル5	育苗期後半～定植当日	1回	定植時まで1回 以内、散布3回 以内	100倍セル成型育苗トレイ1箱(約30× 60cm使用土壌約1.5～4g)当り0.5g	—	アオムシ、ハイマダラメイガ、ヨウムシ、コナガ、カブラハバチ	—	—	フロアブル	灌注	クロトコニロピロール	
	収穫前日まで			3回以内	2,000倍 (100～300g)		50ml	アオムシ、コナガ、ヨウムシ、ハイマダラメイガ、ハスモンヨウ、カブラハバチ	散布						
					20倍 (1～2g)		50ml	アオムシ、コナガ、ヨウムシ、ハイマダラメイガ、ハスモンヨウ、カブラハバチ	無人航空機に よる散布						
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍 (100～300g)	50～25g	アオムシ、オオタバコガ、コナガ、ハスモンヨウ、ヨウムシ	速	長	顆粒 水和剤	散布	フルベンジアミド	適用注意コナガ抵抗性発現	
		劇	21A	ハチハチフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50ml	アブラムシ類	遅	中	フロアブル	散布	トルファンピラト	
	1,000倍 (100～300g)						100ml	アオムシ、コナガ、ハイマダラメイガ、キスジ/ミハムシ、ダイコンサル ハムシ、ナメクジ類							
		15	ノーモルト乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍 (100～300g)	50ml	アオムシ、コナガ、ヨウムシ、タマキケンウバ	遅	長	乳剤	散布	テフルベンズロン		
		6、15	アフームエクセラ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000～1,500倍 (100～300g)	100～67g	コナガ、オオタバコガ、ハスモンヨウ、アオムシ	速	長	顆粒 水和剤	散布	エマクチン安息香酸塩、 ルフェスロン		
		6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ、ハイマダラメイガ、オオタバコガ、カブラハバチ	速	中	乳剤	散布	レピメクチン		
	1,000倍 (100～300g)					100ml	キスジ/ミハムシ、ダイコンハムシ								
		3A	トレボン乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50ml	コナガ、ヨウムシ、アオムシ、アブラムシ類	速	中	乳剤	散布	イトフェンブロックス		
		劇	14	バダシSG水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	1,500倍 (100～300g)	67g	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、カブラハバチ類、ナメクジ	遅	中	水溶剤	散布	カルタップ	
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍 (100～300g)	50ml	アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル		
	5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,500～5,000倍 (100～300g)	40～20g	ハイマダラメイガ、アオムシ、コナガ、タマキケンウバ	速	短	顆粒 水和剤	散布	スピノサド			
5,000倍 (100～300g)					20g	ヨウムシ、カブラハバチ									
	5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500～5,000倍 (100～300g)	40～20ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ、ハイマダラメイガ、ヨウムシ、アザミヤマ類、ウ バ類、オオタバコガ	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム			
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍 (100～300g)	50ml	コナガ、ヨウムシ、アオムシ、カブラハバチ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナヒル		
	29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000～3,000倍 (100～300g)	50～33g	アブラムシ類	速	中	水和剤	散布	フロンカミド			

レタス登録農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	<圃場>1穴当り3mL	—	ビッグベイン病	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
						<床土・堆肥>1穴当り3~5mL <圃場>1穴当り2~3mL	—	ケラ、センチュウ類、ネキリムシ類、ハリガネムシ類 根腐病、一年生雑草						

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		P2	オリゼメート粒剤	定植時	1回	6~9kg	—	斑点細菌病、腐敗病	—	—	粒剤	土壌混和	プロバネゾール		
		1	トップジンM水和剤	収穫45日前まで	1回	1,500倍 (1.5g/m ²)	—	ビッグベイン病、菌核病	○	○	水和剤	灌注	チオファネートメチル		
	収穫7日前まで			2回以内	1,500~2,000倍 (100~300g)	67~50g	灰色かび病、菌核病	散布							
		1	ベンレート水和剤	収穫14日前まで	4回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33g	灰色かび病、菌核病、すす枯病	○	○	水和剤	散布	ベノミル		
		10、1	ゲッター水和剤	収穫7日前まで	2回以内	農業総使用回数、 合わせて5回 以内	1,500倍 (100~300g)	67g	灰色かび病、菌核病	○	○	水和剤	散布	ジエトフェンカルブ、 チオファネートメチル	
		10、2	スミブレンド水和剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000~2,000倍 (150~300g)	100~50g	灰色かび病、菌核病	○	○	水和剤	散布	ジエトフェンカルブ、 プロシモドン		
		M5	ダコニール1000	収穫42日前まで	2回以内	1,000倍 (1.5~3g/1m ²)	—	ビッグベイン病	○	×	70アフル	土壌灌注	TPN		
	収穫14日前まで			3回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	べと病、すす枯病、灰色かび病	散布							
		11	アミスター20フロアブル	収穫30日前まで	2回以内	2,000倍 (3g/m ²)	—	ビッグベイン病	○	△	70アフル	土壌灌注	アゾキシストロビン		
	収穫7日前まで			4回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	灰色かび病、菌核病、べと病、すす枯病	散布							
		M1	キノドーフロアブル	収穫21日前まで	5回以内	800~1,000倍 (100~300g)	125~100ml	軟腐病、腐敗病、斑点細菌病	○	×	70アフル	散布	有機銅		
		24、M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	4回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	斑点細菌病、腐敗病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、 塩基性塩化銅		
	31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	軟腐病、腐敗病、斑点細菌病	○	○	水和剤	散布	オキシロニック酸			
	7	アフエットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	すす枯病、灰色かび病、菌核病、白絹病	○	×	70アフル	散布	ベンチオピラド			
	7	パレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25ml	菌核病、すす枯病、灰色かび病	○	○	70アフル	散布	ピラジフルミド			

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		クレマート乳剤	定植前又は定植・マルチ前(雑草発生前)	200~400ml (100~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
		ゴーゴーサン乳剤	定植前(雑草発生前)	200~400ml (70~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ベンディメタリン	
		アグロマックス水和剤	定植前、定植後雑草発生前 但し、定植14日後まで(春・秋播き) 播種後雑草発生前 但し、は種14日後まで(秋播き)	200~300g (70~101g)	1回	一年生雑草(キク科、カヤツリグサ科を除く)	水和剤	全面土壌散布	プロピザミド	
茎葉処理 除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫30日前まで(雑草生育期、定植前又は畦間処理)	300~500ml (100~150g)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホシネート	
	毒	ブリグロックスL	播種前又は植付前 畦間処理:雑草生育期 但し、収穫3日前まで	600~1,000ml (100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・パラコート	

レタス登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		1B	ダイアジノン粒剤5	播種時又は定植時	2回以内	4~6kg	—	ケラ、コガネムシ類幼虫、ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和又は 作条土壌混和	ダイアジノン		
						6kg	—	ネキリムシ類				土壌表面散布			
		3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン		
		28 4A	ジュリボフロアブル	育苗期後半~定植当日	1回	農業総使用回数、 合せて1回 以内	200倍セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	—	アブラムシ類、カブラヤガ、ヨトウムシ、ハスモンヨウ、オオタバコガ、ナモグリバエ、ヒメタテジロコバエ	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニリブロー ル チアマトキサム	
				育苗期後半~定植当日	1回		100倍セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	—	ハモグリバエ類、ハスモンヨウ、ヨトウムシ、オオタバコガ、ヒメタテジロコバエ、ネキリムシ類				灌注		
			28	ブレバソフフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	ハモグリバエ類	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニリブロー ル	
							2,000倍(100~300ℓ)	50ml	ハスモンヨウ、ヨトウムシ、オオタバコガ						
		4A	モスピラン粒剤	定植前日~定植当日	1回	0.5g/株	—	ナモグリバエ、オオタバコガ、ヨトウムシ	—	—	粒剤	株元散布	アセタミプリド		
						0.25~0.5g/株	—	アブラムシ類							
		4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍	50~25g	アブラムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン		
						2,000倍(100~300ℓ)	50g	ナモグリバエ、アザミウマ類							
		4A	ベストガード水溶剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50g	アブラムシ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム		
			5	スピノエース顆粒水和剤	定植前まで	1回	500~1000倍セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm*使用土壌約3ℓ)当り500ml	—	ハモグリバエ類	速	短	顆粒水和剤	灌注	スピノサド	
					収穫3日前まで	3回以内	2,500~5,000倍(100~300ℓ)	40~20g	オオタバコガ				散布		
							5,000倍(100~300ℓ)	20g	ヨトウムシ						
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300ℓ)	40~20ml	ハモグリバエ類、オオタバコガ、ハスモンヨウ、アザミウマ類	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム		
	劇	14	リーフガード顆粒水和剤	収穫7日前まで	2回以内	1,500倍(100~300ℓ)	67g	ナモグリバエ、アザミウマ類、アブラムシ類、ナメクジ類	速	中	顆粒水和剤	散布	チオンクラム		
		UN	プレオフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	ハスモンヨウ、ナモグリバエ、オオタバコガ、アザミウマ類	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル		
		6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	オオタバコガ、ハスモンヨウ、シロイテモジトウ	速	長	乳剤	散布	レビメクチン		
		6、15	アフームエクセラ顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300ℓ)	100~67g	オオタバコガ	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクチン安息香酸塩 ルフェスロン		
						1,000倍(100~300ℓ)	100g	ナモグリバエ							
	15	カスケード乳剤	収穫3日前まで	3回以内	4,000倍(100~300ℓ)	25ml	オオタバコガ、ハスモンヨウ、ヨトウムシ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン			
劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	オオタバコガ、ハスモンヨウ、ナモグリバエ、ヨトウムシ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル			
	4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル			
	29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50g	アブラムシ類	速	中	水和剤	散布	フロニカミド			

うど登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100ℓ調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌 消毒	劇	8	クロールピクリン	—	1回	<床土・堆肥>1穴当り3~5mL <圃場>1穴当り2~3mL	—	萎凋病、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100ℓ調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌 剤		M5	ダコニール1000	根株養成期但し、収穫200日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	黒斑病	○	×	フロアブル	散布	TPN	
		14	リゾレックス粉剤	根株養成畑定植前	1回	3g/株	—	白絹病	○	×	粉剤	根株粉衣	トルクロホスメチル	
		M1	ドイツボルドーA	根株養成期	—	500倍(100~300ℓ)	200g	黒斑病	○	×	水和剤	散布	塩基性塩化銅	
		2	ロブラール水和剤	根株養成期但し、収穫50日前まで 伏せ込み時但し、収穫21日前まで	3回以内 1回	1,000倍(100~300ℓ) 1,000倍(6ℓ/m ²)	100g —	黒斑病 菌核病	○	△	水和剤	散布 土壌灌注	イプロジオン	

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100ℓ調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫 剤		1B	スミチオン乳剤	根株養成期但し、収穫150日前まで	4回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	アブラムシ類、センガキリ、ヨトウムシ ヒメシロアブゾウムシ、ウドノメイガ	速	短	乳剤	散布	MEP	
	劇	13	コテツフロアブル	根株養成期但し、収穫75日前まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	シクラムホリダニ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナピル	幼虫・成虫・殺卵効果○
		3A	トレボンEW	根株養成期但し、収穫45日前まで	2回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	アブラムシ類	速	中	乳剤	散布	エトフェンブロックス	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		ゲザノゴールド	定植後萌芽前 (雑草発生前)(根株養成圃)	250ml(100ℓ)	1回	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	アトラジン、S-メトラクロール	
		クレマート乳剤	定植後出芽前 (雑草発生前)(根株養成圃)	200ml(100~150ℓ)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
雑草除草剤 (非選択性)	毒	ブリグロックスL	畦間処理:雑草生育期(根株養成期) 但し、収穫75日前まで	600~1,000ml(100~150ℓ)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・パラコート	